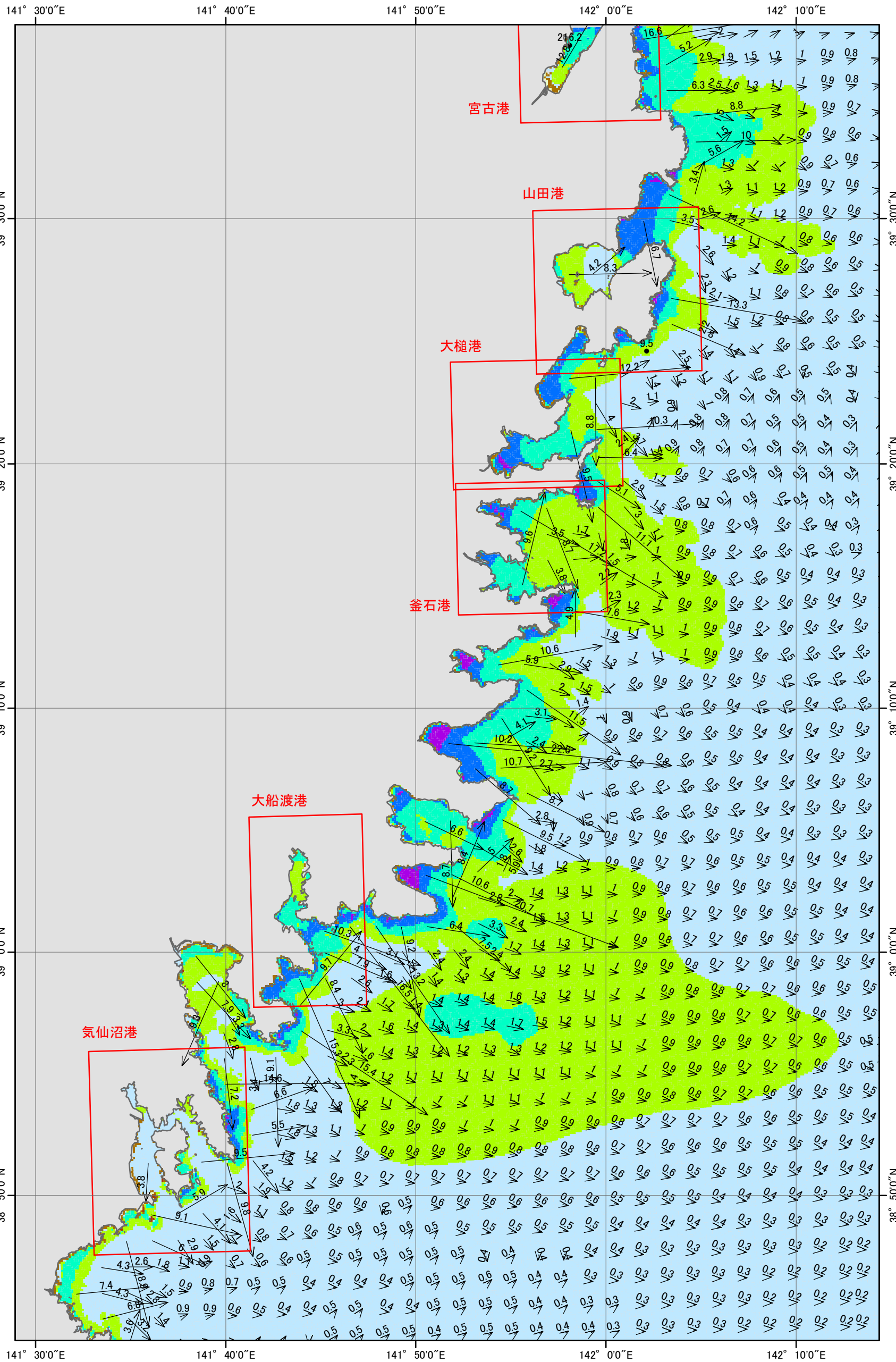




座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件： 最低水面 (零位)
隆起量： 平均 -0.04m (-0.12m ~ -0.01m)
Zo： 0.86m
備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



凡例

- 最大水位低下
- 20~最大20.1m
 - 10~20m
 - 5~10m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域
 - 経時変化図出力点

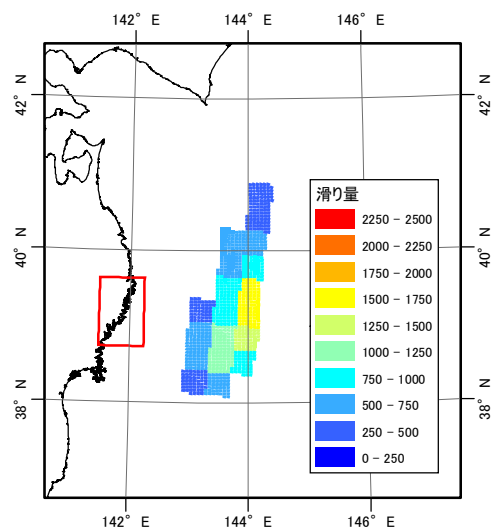
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

引潮時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。
- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。

断面モデル



明治三陸地震

モーメントマグニチュード Mw 8.6

本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。